

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	競艇事業経営基盤強化推進事業		担当部署	企業局 ボートレース企画課 ボートレース事業課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	2	財政の健全化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ボートレース鳴門														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	景気低迷やレジャーの多様化など厳しい経営状況に置かれているボートレース鳴門を、将来に渡って持続可能で健全な経営が可能な企業として生まれ変わらせるために、アクションプランを策定し、計画の着実な実行に取り組む。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	新スタンド建設工事竣工、施設改善に伴う備品・設備の発注及び納品、本場レース再開のための準備 ボートレース宮島及びボートレース丸亀における代替レース開催、代替開催場におけるファンサービスの実施、新聞折込チラシによる宣伝実施、外向発売所(エディウィン鳴門)におけるトークショーや粗品配布等の定期的なファンサービスの実施、キャッシュレスカードの利用促進による売上向上、さまざまなファンサービスイベントの実施によるボートレースファン離れの防止、新アクションプラン(仮)の策定														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボートレース鳴門 新スタンド建設事業の推進</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	ボートレース鳴門 新スタンド建設事業の推進		100				%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
ボートレース鳴門 新スタンド建設事業の推進		100				%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・新スタンド建設、竣工 ・外構工事 ・駐車場舗装 ・エディウィン鳴門(外向発売所)において、トークショーやアメニティ配布など、定期的にファンサービスを実施 ・折りこみチラシによる宣伝 ・主要道路沿いに告知看板設置 ・キャッシュレスカードの利用促進 ・他場観戦ツアーの実施 ・ボートレース宮島で30日(5節)、丸亀で6日(1節)、鳴門市施行のレースを代替開催					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	ボートレース鳴門 新スタンド建設事業の推進	○	100	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	2,120,303	2,120,303
		全体予算額	0	0	0	0	2,186,776	2,186,776
		決算額	0	0	0	0	2,134,149	2,134,149
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費	
		6.0	0.0	41,154	2,175,303			

【事務事業名：競艇事業経営基盤強化推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	1,198,908	2,134,149	205,162	205,162	205,162
	うち一般財源	1,198,908	2,134,149	205,162	205,162	205,162
	人件費	27,512	41,154	41,154	41,154	41,154
	総事業費	1,226,420	2,175,303	246,316	246,316	246,316

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		新スタンド建設について、かなり厳しいスケジュールであるとともに材料費、人件費ともに高騰していく中、適切な施工管理ができ、工期内に竣工できた。売上向上策、ファンサービスについては、原状好調に推移していると言えるが、さらなる向上を目指すためにB評価とした。
	効率性	A:効率的だった		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められた。人員について、これ以上削減は不可能である。
②成果に対する評価	指標名	ポートレース鳴門新スタンド建設事業の推進		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められており、事業は計画通り進捗した。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		新スタンド建設事業は計画通り完成し、売上、ファンサービス等についても好調である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成28年度に本場レースを再開し、また、再開後すぐにGI周年記念競走とSGオーシャンカップ競走の開催が決まっており、かなりタイトなスケジュールであるため、効率的に準備を進めていかなくてはならない。また、本場レース休催中離れてしまったファンを再度呼び戻し、かつ、新たなファンを獲得する施策を展開する必要がある。本場再開に伴い、外向発売所からの売上は落ちると予想されるが、全体のバランスを見ながら施設の特性、役割を活かして経営していく必要がある。業界全体の傾向として今後も舟券売上は減少していくと予想されるため、大幅な売上向上は望みにくい。施設改善により施設に係るランニングコストはこれまでより抑えられるが、多額の設備投資費用を回収しなくてはならず、その他の運営経費をできるだけ抑えられるよう効率的に運営していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	新スタンドをリニューアルオープンし、本場レースを再開する。 平成28年7月にSGオーシャンカップ競走を開催する。 新アクションプラン(仮称)を策定し、より健全な事業運営に取り組む。			
	平成29年度	新アクションプラン(仮称)に基づき、より健全な事業運営に取り組む。			